



～ここは東京丸の内にある運用会社「一寸アセットマネジメント」～
 今日も“ちょっと”気になる巷の出来事が話題
 一寸アセットマネジメントのとある一日
 「ブラックマンデーの記憶」 (第48号)

ここは東京丸の内の運用会社（一寸アセットマネジメント）のある日の昼休み。
 マルチリサーチ部のメンバーは、日頃“ちょっと”気になる出来事で雑談中です。

・今日の雑談メンバー

- 部長・・・運用から営業まで、この道ひと筋30年の大ベテラン。仕事のみならず家事も大得意。
- N課長・・・運用経験あり。人脈が広く、あらゆる情報をキャッチ。気になるワードはメモに書きとめる。
- A係長・・・最近気になるキーワードは「自動運転」「ブロックチェーン」。

○部長



2月5日の米国株式市場での株式の大幅下落は、ブラックマンデーと類似性を示す記事もあるけど、どう思う？

1987年10月19日に起こった下落は20%以上だったとか。中高生だったので株価への記憶はほとんどないのですが、当時を思いだされる方も多いのではないのでしょうか？

A係長



当時はレーガン政権2期目。インフレ対策のための数年にわたるドル高・金利高政策で、世界中から資金が集まった結果、国際収支の悪化と財政赤字が膨らんできていたと聞きます。

N課長



○部長



そんな状況が限界に近づき、1985年のG5(先進5カ国蔵相・中央銀行総裁会議)でプラザ合意による協調為替介入が行われた。すると今度は急激なドル安に見舞われたんだよな。

A係長



当時はインフレ退治がうまく機能し金融緩和局面を迎え1985年には12%近くだった金利もブラックマンデーの3ヵ月前(1987年7月頃)には8%台の水準まで低下していたようですね。

N課長



そんな中、当時の西ドイツがインフレ懸念に見舞われ、政策金利を上げました。更なるドル安をおさえるため、米国に政策金利を引き上げるとの期待があったわけですね。

ブラックマンデー当時と現在の主な類似点

	現在(2018年2月5日)	ブラックマンデー(1987年10月19日)当時
10年国債金利上昇	直前3ヵ月で2.3%台⇒2.8%台	直前3ヵ月で8.2%台⇒10.2%台
円高ドル安	直前3ヵ月で1ドル114円台前半⇒109円台前半	直前3ヵ月で1ドル152円台後半⇒141円台後半
財政悪化	トランプ政権による法人減税・国防費増加等による財政悪化(懸念)	レーガン政権による国防予算の増加による財政悪化
FRB議長交代	イエレン氏⇒パウエル氏	ボルカー氏⇒グリーンズパン氏
減税	トランプ政権による大幅減税	レーガン大統領による大幅減税

出所) 各種報道資料などをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

〇部長



政策金利の引き上げ観測や財政赤字への懸念もあり、米国金利は数週間前から上昇速度を速めていたんだよ。FRB(米連邦準備制度理事会)議長の交代時期だったのも今の環境と似てるね。

A係長



そしてついに、。月曜日がやってきたわけですね。当日の大幅な下落はもちろんですけど、しばらくは大幅な上昇と下落を繰り返し、落ち着かない相場が続いたそうですね。

〇部長



当時はしばらく続いた上下に振れる相場展開で、ほんと忙しくて遅くまで家に帰ることができなくて辛かった覚えがあるな〜。

N課長



現在との類似点が多いのですが、相違点としては米国の経済成長が当時は踊り場にあっただのに対して、現在は経済成長見通しは加速しつつあります。

A係長



現在は景気動向は良好とはいえ、しばらくは株価の変動に警戒が必要かもしれませんね。日本株も影響を受けましたから、変動には注意しないといけませんね。

N課長



ブラックマンデー前後では、日本株も物産業種がガラッと変わったなんて、先輩方の話では聞いたことがあります。相場の転換点になるのかもしれませんが。

〇部長



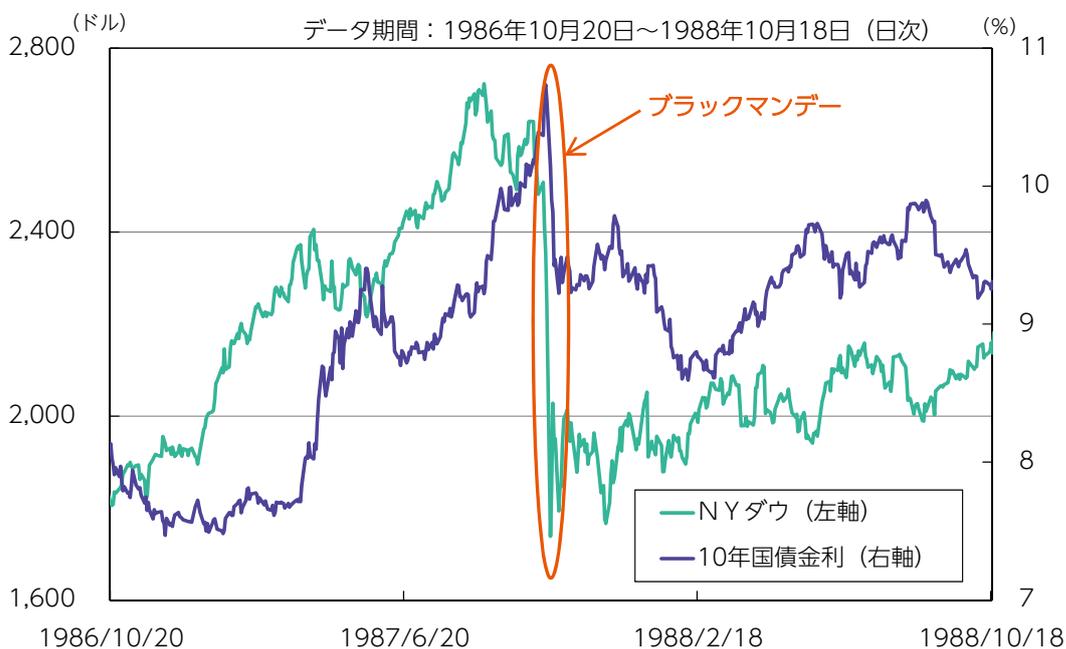
「ブラックマンデー、ブラックマンデー、ブラックフライデー！」聞くだけで嫌な記憶が蘇るよ。(苦笑)

A係長



ブラックフライデー！？部長、感謝祭シーズンセールでのショッピングの楽しい記憶になってしまってますよ。(笑)

ブラックマンデー前後の米国株価と金利の動き



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>